

測勘シタル案ニ本ツキ南昌ヨリ贛州ニ至ル計長七百七十七華里原估需款一千七百九十四万九千元条例ニ照シ保証金一百四十万元ヲ提供スヘキニ付交通部ニ於テハ資本ノ験査ヲ行ヒ其確実ナルコトヲ認メラレタル上方サニ開辦ノ仮許可ヲ与ヘラレンコトヲ請フ商等業ニ已ニ右ノ資本金ヲ集メ全數準備セリ検査ノ上仮許可ヲ与ヘラルニ於テハ株式ノ募集ヲナシ進行ヲ図ルト共ニ一面広東商人ヲ邀ヘテ贛韶間ノ鉄道ヲ籌辦スヘシ該線路ハ計長四百二十八華里原估需款一千七百四十七万六千元按スルニ此全線ノ利益ハ必斯厚ク株主ノ希望者モ当然踊躍スヘシ且ツ両省ノ人民力ヲ通シテ協同交通部ヨリ員ヲ派シテ監理セハ既ニ南潯前車ノ鑑タリ当事者ノ人選ヲ嚴ニシ断シテ南潯路務ノ腐敗ノ如クナラス而

シテ一面南潯鉄路公司ニ会同シ債権者ト磋商變通メテ期ス全路通車ノ後ニ分年清理並ヒニ南潯工程ヲ籌画完竣ナラシム數者同時ニ並ヒ行ハレ路權失ハス現状維ク可キニ庶幾カラニカ固ヨリ奔走呼号徒ラニ済ス無キニ勞スルモノニ勝ルノミ是收メテ國有ニ帰セサルノ權宜辦法也
凡ソ此兩種均シク切実ノ情形ヲ按スルニ係ル通盤籌算此ニ非レハ以テ危局ヲ救フニ足ラス更ニ以テ病源ヲ清ムルニ足ラス商等桑梓ヲ維持スル為ニ起見シ特ニ現金一百四十万元ヲ籌集シ以テ交通部ノ験査ヲ待ツ祇シテ大總統ノ鑑裁ヲ乞ヒ交通部ニ批令シ速カニ從テ核議以テ大局ヲ維カレンコトヲ迫切ノ至ニ勝ヘス

事項六 中國ヘノ兵器供給ニ關スル件

四九一 七月二十二日 斎藤在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ上原參謀總長宛(電報)

傳陸軍次長日本ヨリ速射山砲百二十門其他ノ

兵器購入方申出ノ件

(寫外務省接受七月二十四日)

支極秘八九号

本日陸軍次長傳良佐段總理ノ命ヲ受ケテ來訪シ廣東四川及海軍等ノ情況(支極秘九十)ヲ述ヘタル後今次国民党ノ紛擾並ニ復辟ニ独喫兩國ノ關係深キヲ說キ段總理ハ政府ノ事有スル正当ナル權利ニ基キ國家ノ統一ヲ計リ國利民福ヲ増進スルコトニ腐心シ未タ曾テ不義不正ナル行為ノ指摘セラルヘキモノナシ此場合一二日本政府ノ厚意ニ信頼セントス就テハ差シ当リ速射山砲百二十門、速射野砲六十門、十六珊瑚砲(或ハ榴彈砲)六十門三八式小銃二万挺(彈薬ノ数量ハ調査ノ上申出ル旨)ノ供給ヲ受ケタク之カ商談ハ泰平公司ニ就イテナスヘク代金仕払ヒ別ニ法ヲ講セントスルモ(借款シテ仕払ハントスルカ如キ口吻アリシ)先ツ以テ

四九二 七月二十三日 在中國林公使ヨリ本野外務大臣宛(電報)

日本官民ノ中國南方派援助ヲ掣肘シ段内閣要

請ノ兵器ヲ供与シ然ルベキ旨稟申ノ件

往電第一〇二一号ニ關シ

上海其他ヨリノ情報ニ依ルニ国民党系ノ政客ハ陸續廣東ニ

赴キ愈々中央政府ニ反抗シテ起タントスルノ氣勢ヲ示シ居リ今日迄ノ処尚陸榮廷乃至廣東地方官憲ノ態度明確ナラスト雖或ハ場合ニ依リ相率キテ孫文等ト事ヲ共ニスルニ至ルヤモ計リ難ク右ノ如キ場合ニハ唐繼堯ト相策応シテ雲貴両広ノ四省ハ同盟シテ起ツニ至ルヘクト思考セラル處是等四省ニシテ愈々事ヲ挙クルモ外国ノ援助ヲ得ルニ非サレハ到底成功ヲ収ムル能ハサルヘキコト明白ノ次ニテ現ニ軍器弾薬ハ勿論最モ重要ナル軍資金ノ出所ナキヲ以テ進ンデ軍ヲ中央ニ進メ北京ヲ衝クノ形勢ニ至ラサルヘキハ申迄モナク唯退イテ前記四省ヲ維持セントスルニ努ムルコトト認メラル處御承知ノ通内ハ彼等政客乃至其ノ同志間ノ意見必スシモ一致スルニ非ス外ハ聯合各國ノ同情ヲ失ヘルガ故必敗ノ數炳乎トシテ明カナルハ敢テ識者ヲ待タサル所ナリ世間彼等ヲ援助セサルヲ以テ恰モ南方一帯ノ人心ヲ失フガ如ク思惟スル者アリト雖南方ノ民心又北方ノ民心ト同シク最早乱ニ倦キ革命ヲ好マス事ヲ好ムモノハ唯前記政客アルノミ

事情右ノ通ノ次第ニ付此際所謂南方ヲ援助セムトスルカ如キハ徒ニ紛糾ヲ重ネ南北統一ヲ阻害スルモノニシテ帝国ノ

上海ヘ電報セリ

(二十三日後九、三〇)

註 前掲一四三文書

四九三 七月二十五日

在中国林公使ヨリ

中国南方派ノ拳事ニ關シ南北ノ情勢其他ニ鑑
ミ段内閣申出ノ兵器急速供給然ルベキ旨願申
ノ件

第一〇四五号

七月二十五日吳光新段總理ノ内命ニ依リ齊藤少將ヲ來訪シ廣東ニ於テハ既ニ国民党側軍隊ト督軍側軍隊トノ間ニ小衝突ヲ起シタル趣ニテ形勢追々切迫セルモ段ハ国民党側ニシテ武力ヲ以テ立ツ以上ハ中央モ亦武力ニ依リテ之ヲ鎮压スルノ決心ニテ飽迄此ノ決心ヲ遂行スルノ方針ナルニ付テハ軍器供給ノ一件ハ何分トモ至急好意的斡旋ヲ請ヒタク尚右ノ次第本使ヘ転達ヲ請フ旨ヲ述ヘタル後南方側ノ兵力竝之ヲ討伐スル作戦計畫等詳細ノ義内密ニ同少將ニ語リタル趣ニテ右南方側兵力竝之ニ対スル作戦計畫等ニ付テハ同少將ヨリ其筋ニ電報アル管ニ付委曲右ニテ御承知アリタク段ノ決心ノ鞏固ナル次第ハ右吳光新ノ談其ノ他ニ依リ明白ナルノ

利益ト一致スルモノニアラス旁本使ハ帝国政府ニ於テ此際我官民中南方派ニ援助ヲ与ヘ又ハ南北妥協ヲ策セムトスルモノノ行動ヲ注意セラレ必要ノ場合ニ相当ノ掣肘ヲ加ヘラシテ中外ニ評判宜シキハ既報ノ通リナルノミナラズ今後帝国政府ニ於テ其対支政策ヲ実行セラルニ於テ便宜多カルヘキハ必スシモ不当ノ期待ナリトハ断言シ難カルベク且其中央政府タルコトハ理論實際ノ兩方面ヨリ見テ争フヘカラサルノ事實ナルガ故之ニ對シ其依頼ニ応ジテ軍器並資金ノ供給ヲ為スカ如キコト素ヨリ不可ナキ次第ト信ズ右ニ付当館齊藤少將ヨリ支那政府当局ノ依頼ニ依リ山砲六十門野砲百二十門小銃一万挺ノ製造方本使ノ承認ヲ経テ其筋ニ稟請ニ及ビタル處右ハ予テ帝国政府ノ御考量ニ上リタル軍器統一ノ計画ニモ合致スルノミナラズ前陳ノ通り中央政府ノ依頼ニ基クモノナルガ故何等差支無之事後ニ至リテ本件ニ関シ質問ヲ為スモノ有之節ハ明白ニ御答弁アリテ然ルベキカト思考ス以上新時局ニ関スル御方針御詮議ノ際ニ於ケル御参考迄ニ前電補逸旁稟申ス

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 四九四

様追申ノ件

四八六

少将ニ語リタル所ニ拠ルモ明白ナル次第ニテ又斯クセザルヨリ致方ナカルヘシト思考ス若シ夫レ風説ノ如ク国民党今回ノ舉事ニシテ其背後ニ独逸ノ援助アリトセハ帝国政府トシテ中央政府ニ対シ相当ノ後援ヲ与ヘラルコト素ヨリ差支ナキノミナラス支那政府ニ於テ之ヲ徳トスヘキハ勿論聯合側各国亦均シク之ヲ是認スル所ナラント信ス且又帝国政府ノ予テ希望セラルル兵器統一ノ如キハ我方ヨリ之ヲ勧誘シテ遂ニ支那側ノ同意ヲ得ル能ハサル問題ニ拘ハラス今回ハ支那側ヨリ兵器ノ供給方ヲ申出デタル次第ニテ誠ニ以テ好都合ト云フヘク此好機會ヲ逸スルニ於テハ悔ヲ後日ニ貽スヘキコト明白ニ有之旁本使ニ於テハ速ニ廟議ヲ定メラレ支那政府申出ノ通急速軍器供給ノ運ニ至ランコトヲ切望セザルヲ得ズ閣下宛有吉往電第一六六号上申ノ次第ハ一応ノ理由アランモ各般ノ利害ト大局ノ政情ヲ顧念スルニ本使累次ノ電票ヲ御採用相成ル以外ニ帝国政府トシテ現下ノ時局ニ対応セラルルノ途無之ヲ信ズ

四九四 八月三日 在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)
中国政府へノ兵器供給ノ議ヲ速ニ纏メラルル

キハ乃チ將ニ此ノ情勢ニ合致スルモノナリ其他既ニ稟申シタル通此際我方ヨリ武器ヲ供給スルコトハ軍器統一ニ随伴シテ両國陸軍ノ関係ヲ一層密接ナラシムルノ好結果ヲ生スルコトナリ洵ニ得難キ好機會ト思考ス就テハ是等ノ事情ヲ併セテ御考慮ノ上速ニ関係ノ向ノ議ヲ纏メラルル様切望ニ堪ヘズ

註 前掲一六(文書)

四九五 八月九日 在北京坂西陸軍少将ヨリ
田中參謀次長宛(電報)

段内閣ハ日本ヨリノ兵器購入ノ成否ヲ重視シ
居ル旨報告ノ件

(写外務省接受八月十一日)

坂特電第三十一号

昨八日坂電第一六四号斬將軍ノ口吻ヨリ察スルニ彼ハ段祺瑞側政府此際我政府ノ兵器注文引受ノ諾否ヲ殊ノ外重要視シ支那統一上ノ遲速ハ蓋シ之ニヨリテ決定シ得ヘシト迄信シ居ルモノノ如ク小官モ亦其感ヲ同フセリ從ツテ此諾否即決ハ支那現政府ニ対スル感情ヲ左右スルコト極メテ銳敏ナルコトハ多言ヲ要セザルノミナラズ実ハ帝国政府ノ威信ヲ

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 四九五 四九六

向上スペキモノナルヲ信シテ疑ハス即決ノ上支那當局ニ伝達シ得ル如ク解決セラレンコトヲ望ム特ニ切ナリ
四九六 八月十八日 在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)
日本ヨリ兵器購入シ度キ旨中国政府ヨリ正式
申出アリタルニ付至急取運ビ方稟申ノ件

第一一七三号 極秘
別電 同日林公使堯本野外務大臣宛第一一七四号
中国側購入希望ノ兵器

兵器供給ノ件ニ付屢々卑見電票シ置キタル処最近參謀本部ヨリ斎藤少将ニ對シ我方ニテ右供給ニ応スルコトニ内定シタルモ先以テ支那政府ヲシテ正式ニ本使ニ申出テシメ且其ノ用途ヲモ明示セシムルコト、致度旨電訓シ來リ同少将ヨリ早速支那側ニ其ノ趣ヲ通シ置キタルニ十七日附書面ヲ以テ徐陸軍次長ヨリ同少将宛ニテ旧式軍整理ノ為別電第一一七四号列記ノ兵器ヲ日本國ヨリ購入致度右ハ段總理ノ許可ヲ得タルニ付本使ニ商議シ帝国政府ニ転達アリタキ旨申越タリ

右様徐次長ヨリ斎藤少将宛書面ヲ送リ越シタル次第八段ノ

第一〇九三号

貴電第五四二号ニ關シ御來示ノ通ナルニ於テハ(脱)ノ次

第ナルモ実ハ最初支那側(脱)アリタル以来既ニ相當日数ヲ経過シタルニ拘ハラス未タ回答ヲナシ(脱)ハ徒ラニ支

那側ヲシテ無用ノ不安ヲ抱カシムルノ虞モ有之(脱)能ハサル次第ナルカ本件ニ關スル卑見ハ既ニ累次電票及ヒ置キタル通ニテ閣下ニ於テモ大体御異存無之趣ノ処尚茲ニ追申

致度キハ予テ懸念シ居タル馮段ノ關係モ參戰問題ニ対スル馮ノ態度ニ顧ミ差向キ左程心配スヘキ程ノ事モ之レナクト認メラレ從テ時局收拾ノ前途ニ対シテモ先以テ望ヲ属スルニ足ルヘク殊ニ中央ニ於テハ一面南方鎮圧ノ為武力的準備ヲ為スト同時ニ必シモ直ニ之カ實行ニ着手スルト云フ次

第二ハ之レナキモノノ如ク或ハ一面秘密ノ間ニ依然南方派又ハ準南方派ト交渉ヲ繼続シテ時局ノ平和的解決ニ努力シツツアルニアラスヤトモ推察セラル且前記武力的準備ハ必

スシモ直ニ实行セラルルモノニアラサルト同時ニ右準備ノ進捲スルニ從ヒ却テ南方ノ氣勢ヲ弱(脱)運ヲ促進スルモノアルヘキハ自然ノ情勢ニテ我方ヨリ軍器ヲ供給スルカ如

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五〇〇

四九〇

ヤ若シ打明ケテ御内示ヲ仰クヲ得バ誠ニ好都合ナリ就テハ
差出ヶ間敷事ナガラ此辺總理大臣トモ御協議ノ上本使内密
ノ含迄右ノ点ニ関シ何分ノ義御内示ヲ得タシ

五〇〇 九月六日

在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛

中国政府ガ我方ヨリ購入セントスル軍器ノ用
途ニ関シ徐陸軍次長ヨリ説明ノ書翰写送付ノ
件

附屬書 徐陸軍次長ヨリ林公使宛書翰写

機密第二九四号

(九月十四日接受)

大正六年九月八日

在支那 特命全權公使男爵 林 権助(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

今般支那政府ヨリ購買方申出タル軍器ノ用途ニ関スル本使
ノ質問ニ對シ本月五日徐陸軍次長ヨリ回答ニ接シ候ニ付右
訳文不取敢往電第一二五八号ヲ以テ及電報置候処右回答原
文写茲ニ及送付候条御查閱相成度候也

(附屬書)

徐陸軍次長ヨリ林公使宛書翰写

貴館武官商榷訂購之所由來也至敝国西南各省意思偶有隔閡
實為本国之不幸現正力為疏通終不難和平解決又川中秩序亟
待恢復所以准令查辦使帶隊入川者將藉以重其威權俾可速完
任務與此次訂購軍器遼不相涉質言之訂購軍器為整頓旧式軍
隊之用毫無用以压迫南方人民之意此則鄙人敢為敝国政府所
々言之者也其他福建山西等省各購軍器若干亦因歷年剿匪槍
支彈藥傷耗既多補充宜亟業經本部查核均屬實在情形併以奉
復希転達

貴國政府為荷敬具
林公使閣下

陸軍次長 徐樹錚(印)

中華民国六年九月五日

五〇一 九月二十八日

中村正金銀行副總支配人ヨリ
本野外務大臣宛

中國陸軍部中ニハ日本ヨリ軍器購入ノ交換条件
件トシテ湖北省紀家洛鉱山採掘ヲ許可セント

スル意向アル趣ニ関スル件

附屬書 在北京小田切正金取締役ヨリ正金本店宛電報写

大正六年九月廿八日

(九月二十九日接受)

横浜正金銀行

副總支配人 中村錠太郎(印)

外務大臣子爵 本野 一郎殿

拝啓紀家洛礦山ノ件ニ付別紙写ノ通り在北京弊行小田切取
締役ヨリ電報有之候間茲許供貴覽候 敬具

(附屬書)

小田切取締役來電

紀家洛礦山国有陸軍部主張ニ基キ一面陸軍部ハ日本ヨリ軍
器約一千(?)万円購入希望アレトモ日本政府一部ニ此事カ
南方圧迫ノ結果ヲ來ストノ意見アリ未タ決行セラレサル由

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五〇一 五〇二

敬復者承

然ルニ陸軍部當局者中ニハ軍器供給ノ交換条件トシテ紀家
洛採掘許可致シ得ルナラントノ意嚮アル由ニ付此際日本ハ
礦石代金ヲ以テ軍器代金済済スル方法ニ拠リ軍器供給シ又
陸軍部仕払フヘキ軍器代金日本經由漢治萍公司ニ延ヘ払ス
ル如キ方法ニ依リ全体ノ問題解決シテハ如何本件ハ南方圧
迫ノ如キ小問題ニハ無之本邦製鐵事業ノ将来ニ重大影響ヲ
及ホス大事件ニ付日本政府及ヒ關係各方面考慮相煩ハシ度
夫レトモ他ニ紀家洛問題解決良策有之候ヤ何レニシテモ時
機ヲ失セス詮議相成リ度

五〇二 十月一日

在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛

鐵鉱問題ニ關シ中国政府ト交渉スルニ先チ兵

器供給問題ニ付電訓ヲ得度キ旨稟申ノ件

第一三八三号 至急

貴電第七一一号^(註)ニ關シ鐵鉱問題ニ付支那政府現下ノ政策ヲ
改善セシムル為必要ノ商議ヲ遂クルコトハ疾ク本使ニ於テ
モ希望セル所ニシテ今回御訓示ノ次第モ有之ニ付近ク然ル
ヘク交渉ヲ遂クルコト致スヘキモ我方ノ利益ニノミ立論
シテ先方ノ都合ヲ顧ミサルハ國際商議ヲ纏ムル所以ノ道ニ

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五〇三 五〇四

四九二

アラサルハ本使ヨリ申上クル迄モナキ義ナルカ軍器供給ノ件ハ事態頗ル重大ニシテ最早先方ニ対シ黑白孰レカノ決答ヲ為ササルヘカラサルノ羽目ニアルハ既ニ電票ノ通ニ有之就テハ貴電第七一号御訓示ノ趣旨ヲ実行スルニ先チ往電第一三七七号ニ対スル御回訓ヲ領シ置キ度ニ付右様御承知ノ上至急何分ノ義御電訓ヲ請フ（奉天中継十月一日後七、四〇）

註1 後出六〇六文書

2 林公使來電第一三七七号（九月三十日発）ヲ省略セルガ該電ハ中国政府ニ軍器供給ノ件速ニ御決定アリタキ旨票申セルモノナリ

五〇三 十月三日

在中国林公使（ヨリ）本野外務大臣宛（電報）

对中国軍器供給問題ト中國鐵鉱問題トハ密接

ノ關係アリト認メラル旨報告ノ件

第一三九四号

軍器供給問題ニ就テハ愈々両三日中ニ政府ノ議ヲ御確定ノ上本使ニ御発訓ノ御都合ナル趣ニ付此機ニ於テ御参考迄ニ申上置度事アリ徐樹錚ノ齊藤少将ニ語ル所ニ依レハ鐵鉱國有ノ主義ハ国防ニ基クモノノ如ク其ノ結果鐵鉱ハ陸軍ニ於テ主トシテ統轄シ居ルモノナリトノコトニテ徐ノ口吻ニ依

五〇四 十月四日

本野外務大臣（ヨリ）在中国林公使（電報）

日本政府ノ中国政府へノ兵器供給決定ヲ同政

府へ回報ニ關シ訓令ノ件

第七三一號 至急 極秘

貴電第一三八三号ニ關シ帝国政府ハ愈支那政府ノ希望ニ応シ同政府ニ兵器ヲ供給スルコトニ決定セリ就テハ支那政府申出ノ数量其他ノ細目ニ付テハ貴館附陸軍武官ト支那陸軍部トノ間ニ商議セシムル筈ナリ貴官ハ前記決定ヲ支那政府ニ回報セラルニ當リ帝国政府カ今回此決心ヲ為スニ至リタルハ支那政府ニ於テ右兵器ヲ毫モ南方人民圧迫ノ用ニ供セサルコトヲ誓言セルニ顧ミ其保障ニ信頼シタルカ為ニ外

旨ヲ速ニ先方ヘ申入ラレ我希望ヲ貫徹スル様御配慮相成タシ尤本件ト兵器供給ノ件トヲ交換問題ノ形ニテ提出スヘキヤ否ヤニ付テハ貴官ニ於テ機宜ヲ裁量シテ決定セラレ差支ナシ

（欄外註記）

「十月四日總理大臣聞」

五〇六 十月五日

（田中參謀次長ヨリ）（齋藤在中国日本公使館附陸軍武官宛）（電報）

我政府ノ对中国兵器供給決定ノ真意ニ關スル

件

兵器問題愈々応諾ニ決シタルニ付テハ之ニ關シ最近外務大臣ヨリ林公使ニ電報アル筈ナリ応諾ノ趣旨ハ段政府ニ日支提携ノ誠意アルモノト了解シテ彼ノ希望ニ添ヒ充分ノ好意ヲ表スルニ在リ之ヲ以テ直ニ南方圧迫ノ具ニ供セシムル為ニアラサルハ勿論ナルモ去リ逆其使用ヲ監督スル意味ニハアラス又聯合輿國ニ供給ヲ必要トスル折柄其苦情ヲ排シテ応諾スル所以ノモノハ今回ノ兵器供給ヲ以テ日支兵器統一ノ端緒トナシ日支協同ノ実ヲ挙ヶ尚進ンテハ予テ貴官ヨリ意見具申ノ兵器廠問題及鉛山問題ヲモ好都合ニ進歩セシメ

第七三三号 至急 極秘

貴電第一三八三号ニ關シ兵器供給ノ件ハ往電第七三一号ノ通決定セルニ付貴官ハ帝国ノ国策上我製鐵業ノ原料供給ニ関シ支那政府カ今少シク誠実且親切ナル考慮ヲ加フルコトヲ切望スル帝国政府ノ立場ニ顧ミ往電第七一号電訓ノ趣

六 中国へノ兵器供給ニ關スル件 五〇五 五〇六

リ察スルニ軍器供給問題ニシテ帝国政府ニ於テ疾ク支那側ノ希望ヲ容レラレタランニハ或ハ鐵鉱問題ニ關シ頗ル我方に有利ノ協定ヲ見ルヲ得タルヤニモ想像セラル何レニセヨ鐵鉱問題ト軍器問題トハ密接ノ關係ヲ有スルモノノ如クニ付此辯御賢慮ニ入レラルコト必要ト思考ス尙ホ委細ハ齋藤少将ヨリ參謀本部宛極秘八二号八七号八八号往電ニテ御承知アリタシ

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五〇七 五〇八

四九四

タキ希望ヲ有スルカ為ナリ尤モ今回兵器譲渡ノ条件トシテ直ニ右ノ希望ヲ提出スルヤ否ヤハ林公使及坂西ト熟議セラレタシ兎ニ角適当ノ手段ニヨリ支那側ヲシテ我趣旨ヲ了解セシメ日支相互希望ノ達成ニ充分ノ尽力ヲ切望ス又今回讓与兵器ノ外将来要スレハ四回ノ故障ヲ排シ更ニ譲与シ得ル

コトトナルヘシト考フ支那カ米国ヨリ兵器ヲ購買スルト云フハ甚タ了解ニ苦ム所ニシテ支那カ真ニ日支協同提携ノ誠意ヨリ今回ノ要求ヲ提出シタルモノトスレハ米国ノ運動ニ応スル筈ナカルヘシ若シ支那カ此誠意ナク單ニ兵器売買ノ意味ヲ以テ供給ヲ希望スルモノナレハ我政府ハ之ヲ応諾スルモノニアラス又支那ノ誠意ヲ認ムル能ハサレハ独リ兵器ノミナラス借款モ亦之ヲ拒絶スルニ至ルヤモ知ルヘカラス其辺ハ先ツ彼ヲシテ充分ニ了解セシムルヲ必要トス仮リニ応諾ノ時日多少遷延シタリトスルモ我政府カ之ニ応スルノ決心ナルコトハ彼既ニ充分承知シアリシニアラスヤ此事件ヨリ我政府ヲシテ支那政府ノ誠意ニ疑惑ヲ懷カシムルニ至レルハ甚タ遺憾トスル所ナリ此点ハ遠慮ナク充分突止メ置カルルコト必要ナリト思考ス

五〇七 十月六日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

我方ノ对中国兵器供給ノ意向ヲ段總理ニ伝達

及同總理謝意表明ノ件

第一四一八号

貴電第七三一号ニ關シ十月六日本使段總理ヲ往訪シ御来電ノ趣篤ト伝達シタル処段ハ帝国政府ノ好意ニ対シ深ク感謝ノ意ヲ表シ且其旨伝達方ヲ依頼セリ

五〇八 十月十三日 在英國珍田在露国内田大使各宛(電報)

中国政府ヨリ懇請ノ兵器供給応諾ニ付内報ノ件

第七〇二号(在英 珍田大使宛)

第七八九号(在露 内田大使宛)
過般來支那政府ヨリ帝国政府ニ対シ大砲小銃及弾薬ノ供給ヲ得度旨屢々懇請ノ次第アリ尚支那当局ハ右兵器ノ用途ニ用ニ供スルモノニテ毫モ南方側庄迫ニ使用セサルコトヲ誓言シタルヲ以テ帝国政府ニ於テハ十分慎重詮議ノ末支那政

府ノ希望ニ応シ同政府ニ兵器ヲ供給スルコトニ決定シ十月四日林公使ニ対シ帝国政府ニ於テハ愈右ノ通兵器供給ノコトニ決定セルカ帝国政府カ斯ク決心スルニ至レルハ是等兵器カ毫モ南方人民庄迫ノ用ニ供セラレサル次第ニシテ帝国ヨリ

供給セル兵器カ南方人民殺傷ノ用ニ供セラルルカ如キハ帝國政府ノ支那政府ニ対スル公正且友好ナル精神ニ於テ忍フ能ハナル所ナルヲ篤ト支那政府ニ了解セシムル様取計フヘキ旨電訓シ且之と同時ニ同公使含迄ニ元来日支兵器聯絡ハ帝国政府年来ノ宿望ナルヲ以テ此目的ヲ達成セムカ為帝国政府ハ今後ト雖支那政府ノ希望ニ応シ可成兵器ヲ供給スルニ努ムル覺悟ナル旨申添ヘタリ仍テ十月六日林公使ハ段總理ニ面会ノ上篤ト右電訓ノ趣旨ヲ伝達シタルニ段ハ帝国政府ノ好意ニ対シ深ク感謝ノ意ヲ表シタリ尚支那政府申出ノ兵器ノ数量其他ノ細目ニ付テハ日支陸軍官憲間ニ商議セラルルコトトナリ居レリ貴官内密ノ御含迄

五〇九 十月二十三日 在廣東太田総領事ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

王正廷ヨリ日本ガ段祺瑞ニ兵器及軍資金ヲ供給セザルコトヲ望ム旨申出ノ件

第一四九号

十月二十三日王正廷本官ヲ來訪シ近頃段祺瑞ガ日本ニ対シ軍器購入借款ヲ協議シツツアル由ナルガ右ハ事実ナリヤ若シ事実トスレバ日本ハ不偏不党ノ態度ヲ更メシコトハ断ジテナカルヘキ旨答ヘタルニ王ハ更ニ日下南方派ハ支那ノ民心ヲ代表スルモノナルガ若シ段ガ日本ヨリ如何ナル条件ニ於テモ兎ニ角事実上武器並ニ軍資金ノ供給ヲ受ケ以テ南方ヲ討伐スル如キコトアラバ民心ハ日本ヲ離レテ如何ナル結果ヲ來スマモ測リ難キニ付日本ニ飽迄不偏不党ノ態度ヲ維持シ段ヲ援助スルコトナカラシニ希望スル旨述ベタリ尚当地ニ於テハ民黨派ノミナラズ督軍側ニモ日本ガ段祺瑞ヲ援助シツツアリトノ疑ヲ抱キ居ルガ如ク近頃時々日本ニ対スル不満ノ声ヲ耳ニス民黨一派ハ縱令武力ハ有セザルモ文筆竝ニ弁舌ヲ

右為参考在米、仏、伊各大使ニ転電アリ度シ

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五〇〇 五一

四九六

以テ民間ニ相当ノ勢力ヲ有シ居ルニ依リ其ノ怨ヲ買フコトハ将来日支提携ノ上ニ尠カラズ不利ト思考セラルガ右軍器壳渡ノコトハ事実ナリヤ茲ニ帝国政府ノ対支御方針本官心得ノ為御電報ヲ請フ北京へ電報セリ

五〇〇 十月二十六日 在北京田代陸軍大尉(ヨリ 上原參謀總長宛電報)

中国ノ日本兵器購入問題及江蘇省鳳凰山鉄鉱

売買契約ニ関シ徐陸軍次長ノ大倉組河野ニ對

スル談話等報告ノ件

(写外務省接受十月二十七日)

十月二十六日後一、五〇〇發大連経由

総長宛 在北京 田代 大尉

支極秘、一一九、

徐樹錚ノ大倉組河野ニ語ル所ニ依レハ去十七日米国公使ハ徐樹錚ヲ訪ヒ支那政府カ日本ヨリ兵器ヲ購入スヘシトノ說及日本トノ間ニ鳳凰山鉄鉱売買ノ契約アリトノ說アリ、真偽如何ト質問セシニ依リ徐ハニ対シ日本ヨリ兵器購入ノ件ハ予(徐)ガ天津ニ在リシ時段總理トモ協議ノ上決定セシ所ニシテ今日ニ始マリタルコトニアラス、目下購買ノ方

セザルコトニ関スル日中両政府間ノ話合ニ付
必要アラバ王正廷等南方側ニ話シ置ク様訓令
ノ件

第一八号

貴電第一四九号ニ關シ帝国政府ハ不偏不党ノ方針ヲ変更スルコトナク又サレバコソ兵器供給問題ニ付テモ慎重ノ詮議ヲ尽シタル次第ニシテ元来北京政府ヨリ我泰平組合ニ兵器ヲ注文シ同組合ニ於テ之ニ応スルノ例ハ數年來ノコトニシテ昨今ニ始マリタルニ非ス現ニ其代金ノ支払滞リ居ル分モアル位ナルカ曩ニ段總理天津滯在ノ當時泰平組合トノ間ニ話合アリタル処帝国政府ハ支那ノ時局ニ鑑ミ右ハ濫リニ南

方側ニ対シテ北方ヲ援助スルカノ如キ誤解ヲ招カノコトヲ慮リ本件ニ対シ極メテ慎重ナル詮議ヲ加ヘ來リタルガ遂ニ

中央政府ニ於テ該兵器ハ決シテ南方人民圧迫ノ用ニ供セサルコトヲ誓言スルニ至リタルヲ以テ帝国政府ニ於テハ該兵器力偶々支那国内政争ノ目的ニ利用セラレ南方人民殺傷ノ用ニ供セラルルカ如キハ帝国政府カ其ノ支那ニ対スル公正且友好ナル精神ニ於テ忍フ能ハサル所ナル旨ヲ北京政府ニ更ニ十分徹底セシムルノ手段ヲ執リタル上初メテ本件ヲ応

法ニ就テ交渉中ナリ

又鳳凰山鉄鉱売買ノ件ハ袁世凱時代ニ大倉組トノ間ニ契約シタルモノニシテ當時既ニ百万円ノ前渡金ヲ受領シアリ、目下之ニ關シ交渉中ナルハ事実ナル旨明答セリト尚河野ノ探知スル所ニ依レハ農商總長張國淦ノ鐵礦問題ニ反対シアルハ若シ之ヲ日本ニ売リ渡ス時ハ之ヨリ得ル利益即チ「コノミツシヨン」ハ徐樹錚、曹汝霖ノ為ミニ龍断セラレ己レハ之ニ与カラサルヲ以テ自己ノ手ニ依リテ米国ニ売却シ利益ヲ占メントスルニアリシガ如シ

目下本問題ニ關シ徐ヲ助ケテ尽力中ナルハ曹汝霖及段芝貴ニシテ梁啓超、湯化龍ハ別ニ反対ヲ唱ヘアラザルガ如ク而シテ徐等ハ本問題ガ張ノ為メニ阻止セラレテ解決愈々困難ナル時ハ全國ノ鐵鉱ヲ先ツ農商部ヨリ陸軍部ノ管理ニ移シ

然ル後陸軍部単獨ニテ契約ヲ締結セントスルモノ、如シ北京ガゼット外字新聞及中華新報谷鐘秀等ノ機關紙トハ兵器及鐵鉱問題ニ關シ盛シニ反対的輿論ヲ鼓吹シツ、アリ

五一 十月二十七日 在廣東太田總領事宛(電報)

中国政府ハ日本兵器ヲ南方人民圧迫ノ用ニ供

諾シタル次第ナリ尤モ数量等具体的の問題ニ付テハ未タ決定シ居ラス就テハ貴官ニ於テ以上ノ成行王正廷其他南方側ヘ通シ置ク方我方ニトリ得策ナルベシト思考セラルニ於テハ右ノ趣旨可然内話セラレ差支ナシ

右貴電第一四九号ト共ニ参考ノ為北京、上海、雲南、長沙、重慶、成都ヘ転電アリタシ

五一二 十月二十七日 在中國林公使(ヨリ 本野外務大臣宛電報)

日本ノ对中国兵器供給問題ニ關スル京津タイ
ムス論説報告ノ件

第一五〇〇号

北京天津タイムス社説

最近ニ於ケル日本資本家ノ活躍ハ端ナクモ幾多ノ論難ヲ惹起シタルガ其ノ内敵船処分問題ト交通銀行借款トハ応ニ交通總長曹汝霖ニ於テ其ノ責ニ任スヘキモノナリ敵船処分問題ガ支那ノ名譽ヲ毀瀆スルハ既ニ吾人ノ極論セル通ニシテ交通銀行ノ借款亦其ノ必要アルハ明白ナルモ吾人ハ毫モ自己ノ利益ト名譽トヲ顧ミザルノ政派ヲシテ援助ニ依テ之ヲ遂行セシメタルノ理由ヲ解スル能ハザルノミナラズ更ニ曹

汝霖ガ日本銀行ニ附与スルニ将来交通銀行資金調達ニ対スル優先権ヲ以テシタリト曰フニ至テハ吾人夫レ何ヲカ曰ハシヤ日本ノ活躍ハ更ニ之ニ止マラズ進ンデ軍器供給ノ為三千円ノ借款契約ヲ締結シ其ノ条件トシテ日支合弁ニヨル兵器廠ノ設立並技師及材料ノ供給ヲ約シ以テ千九百十五年ニ於ケル要求ノ貫徹ヲ期セントスルモノノ如シスクシテ日本ハ支那軍器ノ製造運用ニ關スル管理ノ実権ヲ掌握セントスルモノニシテ之レ一面ニ於テ南京鉄鉱獲得ニ關スル野心ノ萌芽トモ見ルベク而シテ曩ニハ漢治萍及所屬鉄山經理ノ実権ヲ其ノ手中ニ收メ今又以上ノ利権ヲ獲得セハ事実ニ於テ日本ハ支那鉄山ヲ独占スルモノト謂ハサルヘカラサルナリ抑モ支那ハ果シテ軍器改革ニ關シ焦眉ノ急ニ迫リ居ルヤ又日本ハ此事業ヲ最能ク有効且經濟的ニ援助シ得ベキ国ナルヤ日本人士或ハ支那陸軍ノ改造ハ支那ノ歐洲出兵ニ備ヘントスルモノナリト説クモノアリト雖斯クノ如キハ真ニ一場ノ空言ニシテ歐洲出兵ノ如キハ軍備ヲ有セズ運輸機關ヲ備ヘザル支那ニ俟ツノ要ナク寧ロ須ク先づ日本政府ノ勘考セザルベカラザル所ナリ斯クノ如クニシテ今次供給セントスル武器ニシテ既ニ南方討伐ノ用ニ供スルヲ得ズトシ而シニ周知ノ事実ニシテ日本人士中ニ於テモ之ヲ承認スルヲ肯ンゼサリシモノアルニ係ハラス今ヤ忽チ豹変シ此不法ノ先約ヲ楯トシテ敢テ憚ラザルニ至レリ段祺瑞ハ曩ニ俄国使臣ニ向ツテ契約ノ適法ナラサル可カラサルヲ宣明シ更ニ最近米国公使ニ對シ将来鉄鉱ヲ国有トシテ實業ノ進行ニ資スペキヲ確認シタリ然ルニ段ハ頻リニ日本ノ圧迫ヲ危惧シ現ニ某国外交官ニ向ツテ日本今次ノ要求ハ其侵略主義ノ一表彰ナル旨ヲ語リタルニ顧ミル時ハ吾人ハ益々日本カ往年ノ要求ヲ貫徹セントシテ当局ニ強迫シツ、アルヲ信セズンバアラス而シテ其間陸軍次長及曹汝霖ハ若シ今次ノ要求ヲ容レスンバ日本ハ更ニ他ノ方面ニ於テ支那ヲ圧迫シテ止マサルベキ旨ヲ唱導シテ段總理ニ迫リツ、アリ南京鉄山ヲ支那ノ最大富源ノミナラス日本ノ提議セル造兵廠ハ南京ニ設立セ

テ日本ニシテ最近遣米特使ノ言明セル非侵略主義ヲ恪守スルニアリトセバ支那ガ軍器購入ヲ緊切トスルノ理由ナク寧ロ歐洲戰争ノ終結ヲ俟ツテ其ノ過剩武器ヲ得ルニ如カズシテ何ヲ苦シニ此際三千万円ノ巨額ヲ浪費シテ日本ニ倚頼スル愚ヲ敢テセンヤ若シ夫レ南京鉄山問題ニ至テハ前財政總長ノ不法ナル百万円借款ニ其ノ端ヲ発スルモノ而カモ現政府當局ニシテ一片愛國ノ赤心アリトセバ断々乎トシテ之ヲ排斥シ飽迄モ富源ノ保存ヲ期セサルヘカラサルヤ論ナシ若シ外國資本ノ注入ヲ容認シ進ンデ外國技術家ノ招聘ヲ認許スルガ如クンバ遂ニ千載ノ悔ヲ貽スニ至ルベシ

五一三 十月二十七日 (在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報))

**日本ハ南京鉄山ヲ權内ニ收メ又中国造兵廠ノ經理ヲ掌握セントストノ京津タイムス北京通
信報告ノ件**

第一五〇一号

北京天津タイムス北京通信

日本ハ南京鉄山ヲ完全ニ其權内ニ收メントスルノミナラス更ニ進ンテ造兵廠ノ經理權ヲ掌握シ顧問技師ノ招聘ヲ要求シ

五一四 十月二十八日 (在北京坂西陸軍少將ヨリ
上原參謀總長宛(電報))

**中国ノ日本兵器購買ニ對シ在中国米國公使反
対策動ニ關スル件**

(写外務省接受十月三十日)

十月二十八日後 一一、五〇四着

參謀總長宛 在北京 坂西 少將

坂極秘電第二六六号

支那カ我國ヨリ兵器ヲ購買スル件ニ就キ最近米國公使カ抗議的質問ヲ提出セリトノ説ニ關シ本日曲同豐劉崇傑等ニ之ヲ質シタルニ先ニ我國ヨリ兵器壳渡允諾ノ旨正式ニ支那政府ニ回答ヲ與ヘントスル際米國公使ハ段總理ニ會見シ約二時間ニ亘リ兵器ヲ日本ヨリ購入スルノ不利ヲ説キ且有利ナル条件ヲ以テ万事支那政府ノ便利ヲ計ルヘシトテ自國ヨリ主要兵器ヲ供給スヘキ旨從速シタルコトアリシカ段總理ハ勿論之ニ耳ヲ傾ムケス曲等又日本已ニ應諾ノ意ヲ内報シ來

レル今日日支現下ノ邦交ニ顧ミ断シテ米国ノ勧誘ニ応スヘカラサルヲ主張セシカハ米国ノ供給ヲ受クルヲ可トスル論者ハ全ク挫折シ爾後其儘トナリアリシカ是等反対者カ暗ニ運動セルモノト見エ之ニ関スル日本トノ内交渉米国公使ノ知ル所トナリ該公使カ最近軍事外交ノ当局ニ対シ殊更ニ日本ヨリ兵器ヲ購入スル計画ノ有無及ヒ鳳凰山問題ノ実否ヲ質シ尚兵器購入ハ單ナル問題ニアラスシテ裏面ニ必ス何等カ交換的条件伏在スヘシ等質問ヲ發セリ又本問題ニ関シテハ独リ米国公使ノミナラス当地外交家中ニモ本件ヲ以テ第

五項復活ノ前提ナルヘシト揣摩シ或ハ斬雲鵬一行ノ渡日ヲ以テ日支兵器同盟ノ交渉ヲ為サントスルモノニアラスヤ等質疑ヲ發スルモノアリト

吉林問題ニ關シテハ事全ク督軍以下旅團長等ノ野心ニ出タルモノニシテ何等政治的色彩ヲ有セサルモノナルモ不穩ノ状態永続スルニ於テハ西南独立軍乃至蒙匪等力之ヲ利用シ事件モ漸次拡大スルカ如キコトナシトセス故ニ最近ノ國務會議ニ於テ之ニ対シ一面百方穩手段ヲ講シテ之ヲ迅速解決ニ努ムルハ勿論ナルモ尚且彼等ヲ反省セシメ得サル場合ニ於テハ斷然武力ヲ以テ解決スルニ決シ坂極秘電第二六五

号ノ如キ計画ヲ立テタリ然ルニ段総理ハ本件ニ関スル我国ノ態度ヲ懸念シ屢々劉崇傑ヲ招致シ現状ヲ問ヒタルヲ以テ劉ハ過般來之ニ對シ我関東都督カ極メテ公正ナル態度ヲ取ラレツ、アル旨報告セルニ大ニ感謝ノ意ヲ表シツ、アリ劉ハ尚段ノ意ナリトテ曰ク今後万一該地方ニ武力ヲ使用スルノ已ムナキニ至レル場合ニ於テハ自然貴國ノ利害ニモ關係ヲ及ホスコト無キヲ保シ難キモ何卒関東都督ノ好意ニ依リ好意的不干涉ノ態度ヲ持セラレンコトヲ懇願ス云々

各地済

五一五 十一月二日 參謀本部總務部長(電報)
对中国供給兵器代金支払ニ付中國側ノ便宜ヲ

計ルベキニ付中国當局ヲシテ速ニ泰平公司ト
売買価格ヲ協定セシムル様指示ノ件

極秘

十一月二日発

田代大尉宛 総務部長

齋藤少將發中央部要求ノ兵器ハ既ニ泰平公司ヨリ其筋ニ払下ヲ願出テ何日ニテモ發送シ得ヘシ又我政府ハ支那政府ノアールヲ以テ只管都督個人ノ好意ヨリ自發的ニ出テラレンコトヲ祈リ居ルモノナリ又此旨予カ直接公使ニ面謁シ依頼スルトキハ事表面的トナリ具合悪シカルヘシ故ニ此旨貴方ヨリ林公使ニ伝ヘ吳レトノコトナリシヲ以テ直ニ右公使ニ伝達セリ

京スレハ政府モ孟ヲ疎略ニ取扱フコトナカルヘク孟個人トシテ得策ナルノミナラス東三省治安維持上最モ必要ニシテ在満洲日支両國人民ノ幸福ナル旨忠告セラル、コトハ独リ予ノ願望ノミナラス段総理モ内々希望シアル次第ナリ只之カ外交的トナルニ於テハ国民ノ誤解ヲ受ケ事面倒トナル虞アルヲ以テ只管都督個人ノ好意ヨリ自發的ニ出テラレンコトヲ祈リ居ルモノナリ又此旨予カ直接公使ニ面謁シ依頼スルトキハ事表面的トナリ具合悪シカルヘシ故ニ此旨貴方ヨリ林公使ニ伝ヘ吳レトノコトナリシヲ以テ直ニ右公使ニ伝達セリ

曲又曰ク数日前米国公使ハ総理ニ会見シ日本兵器購買ノ件ニ關シ屢々抗議的ノ質問ヲ發シ日本ヨリ多數ノ兵器ヲ購入スルハ弊害ヲ将来ニ遺シ危険之ヨリ大ナルハナシト説キ立テタルニヨリ總理ハ本計画ノ事実ナル旨述ヘタル後凡ソ物品ヲ何レヨリ購入スルモ之レ購入者ノ自由タルヘク今仮ニ

殊ニ政府ハ目下兵器ノ需用ニ迫ラレアリ而シテ最モ迅速ニ供給目的ヲ達スルハ地理上最モ接近シアル日本ニ求ムルヲ適當トスルヲ以テ自然之カ購入方ヲ日本ニ交渉セル次第ナ孟恩遠ニ対シ人ヲ介シ間接ニシテモ中央ノ命ニ從ヒ速ニ上

(写外務省接受十一月六日)

十一月三日前五、〇五發

在北京 坂 西 少 将

參謀次長宛

坂、極秘、電、一二七五

一日発貴電了承本日土肥原ヲシテ曲同豊ヲ訪ヒ曲ヨリ直接林公使ニ願ヒ出ル様伝ヘシメタルニ彼曰ク貴國閔東都督力此際日支両國ノ邦交ニ鑑ミ全ク好意的ニ私人ノ資格ヲ以テ孟恩遠ニ対シ人ヲ介シ間接ニシテモ中央ノ命ニ從ヒ速ニ上

六 中国ヘノ兵器供給ニ関スル件 五一六

五〇一

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五一七 五一八

五〇二

リ将来支那ノ歐洲出兵実現セラル、ニ至リ多数ノ兵器ヲ要スル場合之ヲ要スレハ貴國ノ配慮ヲ請フコトアルヘシ云々
トテ婉曲ニ之ヲ謝絶セル由又陸宗輿ノ言ニ依ルニ本回日支合辦ニテ新設セラレタル為替銀行即チ滙業銀行總辦ニ前任北京交通銀行支配人楊德森（海蘭鐵道督辦ノ親戚ニシテ密接ナル關係アル人）推薦セラレアルカ最近米國公使ハ彼ヲ訪ヒ日本トノ此種合辦ハ危險ニシテ貴下個人ニトリテモ何等ノ利益ナカルヘシ予ハ楊貴下ノ為一ヶ月二千弗ノ収入アル事業ヲ周旋スヘシトテ誘拐ヲ試ミタルカ楊ハ御好意ハ感謝ノ外ナキモ本計畫ハ國家ノ為ニ經營セルモノナルカ故ニ個人的収入ノ多少ノ如キ固ヨリ論スル限リニアラストテ之ヲ拒絶シタリト以上米國公使カ我國ヲ中傷シ支那人引付方ニ腐心シアル一例トシテ御参考迄

各地済

五一七 十一月五日 在北京田代陸軍大尉ヨリ 上原參謀總長宛（電報）

兵器供給ニ關シ泰平公司ト徐陸軍次長トノ文

涉狀況報告ノ件

（写外務省接受十一月六日）

ニテ万事順調ニ取運ビ梁氏モ非常ノ満足ニテ旅程ヲ進メ居リ候ハ全ク貴官御高配ノ賜モノト深ク欽佩寵在候

一行ハ本日迄ニ阪神ノ視察ヲ終リ明日ヨリ數日間奈良京都ヲ遊覽十二日京都發箱根ヲ經テ上京ノ途ニ就ク予定ニ候

斬雲鵬及曲同豐兩將軍ノ來朝モ切迫致シ候ガ梁氏ハ兩將軍入京前ニ是非兵器代償支払ニ關シ懇談致シ度ク若シ両將軍旅程ノ都合上相當ノ暇ナケレバ列車中ニテ數時間ニテモ面会助力致シ度シト申シ居ラレ候又斬將軍モ此際梁氏ノ助言ヲ希望シ居ラル、由ニ承リ候

又海蘭鐵道ニ就テハ同鐵道總辦施肇曾氏ハ梁氏渡日ノ途ヲ要シ上海ニテ協議ス可ク天津ヨリ南下同地ニテ待受中不

幸病氣ニテ面談ノ機ヲ失シ候為委細ヲ腹心ノ楊廷棟ニ含メテ梁氏ニ面會為致候結果今般梁氏ヨリ小生迄大倉組ニシテ若シ同鐵道ニ希望アラバ此際借款ニ対スル優先權ヲ敝社ニ与フル様施督辦ニ命ジ適宜ノ方法ヲ講ズルコトニ尽力ス可シト申居ラレ候

梁氏ト竜濟光氏ノ最近ノ關係ニ就テハ已ニ鈴木總領事ヨリ御報告モ有之候事ト存ジ候ガ今回梁氏香港出帆ノ砌態々本船迄見送アリントノコトニ候ヘバ兩者ノ間ハ余程接近シ

十一月五日後六、四五発
六日前八、二〇着

參謀總長宛

在北京 田代大尉

支極秘 二二七

本日当地泰平公司主任高木ハ徐樹錚ト會見シ兵器ノ価格表及交付期日ヲ交付セリ支那側ニテハ之ニ基キ兩三日中ニ意見ヲ決定シ交渉ヲ進ムル筈ナリ尚餘ハ高木ニ對シ第一回交付兵器中ニ是非若干ノ野砲榴霰弾ヲ加ヘラレンコトヲ懇請セリ之ニ付キ御都合御指示ヲ乞フ

五一八 十一月七日 在神戸大倉喜七郎ヨリ

小幡政務局長宛（電報）

大正六年十一月七日

外務省

小幡政務局長殿

神戸ニ於テ

大倉喜七郎（印）

瀟呈

晚秋ノ候御動履益々御清穆ノ段奉南山候

掲テ今般梁士詒氏一行去ル三十一日長崎入港以来今日迄長崎兵庫兩県知事並ニ兩警務長ノ御庇護斡旋至レリ尽セリ

（十一月十日接受）

來朝中ノ梁士詒ノ動靜報告ノ件

（写外務省接受十一月六日）

居ルコトト推察セラレ候

伍朝権モ廣東行ノ途之レ亦梁氏ヲ訪問懇談アリシ由ニ承

リ候

前記ノ諸件ハ已ニ貴聞ニ達シ居ルコトト存ジ候モ些少ニテモ御参考ニ相成ラバ本懷ノ至リト存ジ拝礼旁々申添ヘ候

尚此後トモ何分ノ御配慮ヲ賜ラバ幸甚ノ至リニ奉存候

敬具

五一九 十一月九日 在北京田代陸軍大尉ヨリ

上原參謀總長宛（電報）

（写外務省接受十一月十七日）

陸軍部ヨリ申出ノ兵器代金支払ニ關スル契約

案報告ノ件

十一月九日後二、五五発
十一月十日前六、二〇着

參謀總長宛

在北京 田代大尉

支極秘第百三十二号

昨八日陸軍部ヨリ當地泰平公司主任ヘ申出タル中央部申出

ニ係ル兵器代金支払ニ關スル契約案左ノ如シ

第一回、契約調印ト同時支払百五十四万九千余元、

第二回、第一回ニ交付サルヘキ兵器ノ發送ト同時支払三百

五〇三

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五〇〇

五〇四

五十万元

第三回、右兵器交付ト同時支払三百五十万元

第四回、第二回ニ交付サルヘキ兵器ノ発送ト同時支払三百

九十万元、

第五回、右兵器交付ト同時支払三百五十万元、

以上支払ノ期日ハ泰平公司ヨリ一週間以前ニ陸軍部ニ通知
スヘク若シ契約ノ期日ニ指定ノ金額ヲ支払フコト能ハサル

トキハ不足ノ額ニ対シ年七分ノ利息ヲ附ス支払終了ノ期ハ
遅クモ三ヶ年ヲ出ツルヲ得ス（契約案終リ）

陸軍部ニテハ現在軍費トシテ約二百万元アル由ニテ右契約
第一回ノ分ハ之ヲ以テ支払ヒ其補充トシテハ陸軍部ニテ借
款ヲ起サントスルモノ、如ク（多分大倉ナラン）此借款不
可能ナルトキハ先ニ成立セシ交通借款ヲ以テ一時立替ヘン
トスル考ナルカ如シ目下ノ財政状態ニテハ契約案前段ニヨ
リ五回ニ支払終ルコトハ到底不可能ナルヘク結局後段ノ規
定ニ依ルコト、ナルヘキカト察セラル

五〇〇 十一月十二日 在上海原田總領事代理ヨリ
本野外務大臣宛（電報）

兵器借款反対ノ通電ニ對スル馮大總統ノ復電

等ノ兵器借款反対ニ付報告ノ件
（十一月十三日接受）
等北京政府側ノ弁明並上海ノ新聞及商務總会

往電第一三九号ニ關シ陳督軍ニ對スル馮大總統ノ復電ナリ

トシテ当地漢字新聞ノ伝フル所ノ要領ハ往年某國ノ要求ニ

係ル第五項ナルモノハ當時段総理ハ陸軍大臣トシテ力爭大

ニ力メ遂ニ辭職スルニ至リシ所ノモノニシテ某國縱令再ヒ
之カ繼續進行ヲ圖ラントスルモ閣議ハ之ヲ通過シ難カルヘ

ク馮亦總理ト其ノ主張ヲ一ニスルニ力ムヘシ況ニ某國ハ
親善相倚リ未タ曾テ争フ生セス皆和平相持シ居レリ何ソ非

理ノ要求ヲ為スコトアランヤトテ慰撫勗ムモノナルカ尚

新聞報ハ軍械借款弁明ノ官電ナル題目ノ下ニ一括シテ曹
鋕、張懷芝、倪嗣冲、趙倜ヨリ各別ニ李純及陳光遠宛發送

セル返電ナルモノヲ掲載シ居リ是等ハ總テ第五項復活云々

ノコトヲ以テ新聞紙ノ故意ニ捏造セルモノナリトシ何ソ毒

ヲ飲ンテ渴ヲ止ムルノ愚ヲナサンヤトテ政府ノタメ弁明力

ムルモノアリ尚軍器借款ニ關シ數日前北京政府ノ公表セル

弁明文ナルモノ當地ニモ伝ヘラレタルカ支字新聞一般ノ論
調ハ相変ラス良好ナラス殊ニ中華新報、民国日報等ノ民黨

機関紙ハ極力反対ニ力メ居レリ尚籌備保国会ノ名ノ下ニ段
祺瑞ノ罪状ヲ數ヘ段ノ締結シタリトセル軍器借款ニ反対セ

ムコトヲ記載セル印刷物ヲ配布セルモノアリ又商務總会其
ノ他十一商人団体ハ近時政府ノ行動ハ總テ自殺政策ナリト

シ煙酒税借款、吉長鉄道借款、交通借款、日支銀行設立、
没収敵船処分方等ニ反対スルト同時ニ軍器借款ニモ言及シ

之ヲ以テ往年日本ノ要求中ノ第五項ノ再現ナリトテ遂ニ朝
鮮ト運命ヲ同フルニ至ルヘシ云々トノ意味ノ警告電報ヲ

大總統、總理及各省要路者ニ發シタル趣漢字新聞ニ現レタ

ルニ依リ右ニ付朱商務總理ニ確メタルニ右ハ事實ニシテ実
ハ特ニ軍器借款等ニ反対セムトスルノ意志ニハアラサルモ

六百人余ノ連署アル依頼状ヲ突キ付ケラレタル結果已ムナ
ク發電セルモノナリト謂ヘリ尚同總理ハ曩ニ九江商務總会

ヨリ当地商務總会宛發電シ來レル軍器借款反対ノ電報写ヲ
關係方面ニ配付シタル旨ヲ語レリ

北京、九江ヘ転電シ南京ヘ郵報セリ
註 原田總領事代理十一月十一日發電報第三九号省略セルガ
該電ハ江蘇督軍李純江西督軍陳光遠ノ兵器借款反対ノ通電
ヲ報告セルモノナリ

六 中国へノ兵器供給ニ關スル件 五二一

五〇五

五二一 十一月十二日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛

兵器借款乃至鳳凰山問題ニ關スル李純ト段總
理間往復電報送付ノ件

附屬書一 十月二十八日李純發段總理宛電報

二 十一月四日發段總理返電

公第三一四号
大正六年十一月十二日
(十一月十九日接受)

在支那

特命全權公使男爵 林 権 助(印)
外務大臣子爵法学博士 本野 一郎殿

十一月十二日ノ北京官辺各紙ハ事ノ中外睦誼ニ重大ノ關係

アリ某要人ニ請ヒ掲出スルモノナリトテ十月二十八日李純

ヨリノ電報及ヒ右ニ対シ十一月四日ヲ以テ段總理ヨリノ返

電ヲ發表セリ右ニヨレハ李ハ鳳凰山鐵礦ヲ条件トシテノ軍
器借款ヲ為サントノ風説ヲ指摘シ是レ或ハ日本先年第五号

要求ノ復活ニ非ルカト稍々詰問的ノ体度ニ出テタルニ対シ
段ハ軍器ノ買入ハ歐戰參加ノ結果其必要ヲ感スルニ至リタ
ルモノニシテ先ツ之ヲ米國側ニ協議シタルモ成立ニ至ラサ

リシヨリ止ムナク日本側ヨリノ行掛ニシテ現政府ハ契約廃止主義ヲ採ルモノニシテ共ニ第五号問題トハ相与ラズト弁明シタルモノニテ全文別紙ノ通リニ有之就イテ御参照相成度将又右ニ対シ李純ヨリハ更ニ十一月九日附ヲ以テ段總理ニ対シ自分カ徒ラニ風説ヲ信シテ段氏ノ威信ニ疑フ挾ムモノニ非ルモ鬼角外交ノ事タル行掛リノ禍根ヲ貽スモノアレハ段氏ニ対スル信用ト之ヲ愛護スルノ誠ヨリ電問シタルモノタルハ亦其諒トスル処ナルヘシト弁ジ詞意或ハ之ヲ言外ニ察スヘキニ似タルモノ有之候

右御参考迄及報告候也

(附属書一)

民国六年十月二十八日附李純ノ段總理宛電報

近日中外新聞ハ盛ニ某国第五項ノ条件完全成立セルヲ伝ヘ固ト我国存亡ノ關係ナルヨリ遂ニ政府ヲ完國ト誣ヒ相闘シテ已マス若シ早く解釈スルナクンハ愈々伝ヘテ愈々訛ヒ更ニ弁晰ノ余地ナカラシ西南用兵ノ際惟ニ彼方ノロ実ヲ貽スノミナラス我軍誤信謠言セハ必ス解体スヘク其危險思議スヘカラス政府ハ既ニ此事ナクハ何ゾ妨ケン明白ニ中外ニ

宣示シテ以テ人心ヲ安スルコトヲ又聞ク江南鳳凰山鉄礦亦其内ニ在リト此則チ純力守土ノ責任上尤モ問ハサル能ハサルモノ特ニ政府カ公布声明シテ以テ群疑ヲ解キ衆誘ヲ息メシコトヲ請フ切禱ノ至也

(附属書二)

十一月四日段總理返電

二十八日附電ヲ読ムニ愛國ノ誠言表ニ溢ル惟タ新聞ノ事実ハ全ク虚伝ナリ五項条件完全ニ成立セリトノ一説意ハサリキ執事亦之ヲ深信スルカ查スル五月七日ノ一案ハ前ニ迫ラル、甚シキヨリ祺瑞ハ陸軍總長ノ任期中國家存亡ノ關係ト認メ去就ヲ以テ争ヒ遂ニ五号条件撤回セラレ結果トナレリ豈自ラ荆棘ヲ生ジ忽チ初心ニ背クノ理アラン完全成立ノ事ハ何ヨリシ来ルカ鳳凰山鉄礦ハ乃チ是レ前袁大總統任中華粵公司ト大倉組トノ礦石売買契約ニ発シ五年春間大倉組ハ先ツ一百万元ヲ華寧ニ交付シタルコトアルモ去年六月以後ヨリ華寧公司ハ未タ農商部ノ許可ヲ得ス國務會議ニテハ該公司ノ礦權ヲ取消シ且督辦撤去ノ決議ヲ為シ指令ヲ奉シ大倉ノ華寧ニ交付シタル金額ハ政府ヨリ還付シ旧契約ヲ廢止セントセルモ大倉ハ之ニ応セス一年以来日本公使ハ屢々契

約履行ヲ求メタルモ政府ハ始終堅持シ此度内閣成立ノ後モ日本公使ハ又復タ提議シ現ニ正ニ切実商議中ニテ總スルニ

辦法ノ妥義ヲ期シ主權ヲ力顧セリ此案本ト別ノ一件ニテ五

号ノ内ニ在ラス相提ケテ並論スル能ハサルナリ対独宣戰以

後ニ至リ歐洲派兵援助セントスルモ自製ノ軍器不足ナルヨリ勢ヒ他国ヨリ購買セサル能ハス現在能ク軍器ヲ我ニ売リ

得ル者ハ西ニ在シテハ惟タ米國東ニ在シテハ日本ニテ米國ト迭リニ商議シタルモ久シク成議ナキヨリ先ツ其急トスル

処ヨリ始メ不取敢日本ニ向ヒ一口ノ軍器ヲ買入ル、コトシ代価交付前之ニ利息ヲ付スル迄ナリ所訂ノ契約モ亦タ僅カニ一回丈ニテ純然タル自由購買毫モ拘束ヲ生セス支那历来獨仏諸國ノ軍器ヲ購買スル皆此ノ辦法ニ係リ共ニ成案ノ徹スヘキアリ五号中列記ノ軍器問題トハ決シテ牽涉スルナシ近クハ西南ノ構乱ヨリムヲ得ズシテ兵ヲ用ユ是ニ於テカ不逞ノ徒ハ謠言ヲ作造シ中央ヲ攻撃ス謠説ノ尤モ人ノ聴聞ヲ聳エ易キ者ハ則チ外交ノ失敗主權ノ損失ニ如クハナク愛國者ハ憤然トシテ深憂シテ造謠者ハ計ヲ得タルニ欣然ス尚希クハ注意セヨ

十一月四日

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五二三

五二二 十一月十五日

斎藤在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ原參謀總長宛(電報)

兵器供給、鳳凰山問題ニ關スル陸軍次長徐樹

録談話報告ノ件

(写外務省接受十一月廿二日)
大正六年十一月十五日北京着

參謀總長宛 電報

斎藤少將

支極秘一三七

本職ハ本日徐樹錚ニ面会セシニ徐ハ兵器問題ニ關シ日本政府ノ好意ハ段總理モ非常ニ感銘セル次第ニシテ曩ニ米國公使ハ段總理ヲ訪ヒ之ニ關シ質問ヲナシ又予(徐)ニ対シテモ數回質問スル所アリシヲ以テ普通外國ヨリ購入スルト何等異ル所ナキ旨ヲ弁明シ國際交誼上一応ハ説明ヲ与ヘタルモ此レ以上仮令如何ニ申シ來ルモ段總理及自己等ハ世界竝ニ極東ノ大勢ニ鑑ミ一二日支兩國ノ親善ニ信賴シ彼等ノ言ニ耳ヲカサハル決心ヲ有ス世上兵器並ニ鳳凰山問題ニ対シテ邁進シ更ニ介意スル処ナキナリ鳳凰山問題ニ就テモ梁啓超、張國淦湯化龍林長民等所謂進歩党ハ米國公使館ト連絡

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五二三 五二四

シ其成立ヲ妨害シツ、アルモ日本ノ我ニ対スル好意ト国家ノ利害ニ鑑ミ是非トモ之ヲ成立セシムル事ニ就キ段總理モ深キ決心ヲ有シ大倉喜八郎氏來着ノ上ハ成ルヘク速ニ契約ヲ締結スル如ク準備シアリト述ヘ事実日本ニ信頼セルコトヲ確言スルト同時ニ鳳凰山問題ハ大倉ノ名義ナレ共結局日本ニ鉄礦ヲ供給スルモノナルヲ以テ我兵器供給ノ好意ニ報ユルモノナリトノ言外ナルカ如シ

(後略)

五二三 十一月二十日 斎藤在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ原參謀總長宛(電報)

中國政變ノ為泰平公司陸軍部間ノ兵器売買契

約調印遲延ノ件

(写外務省接受十一月二十四日)

十一月二十一日後 三、〇〇発

參謀總長宛

北京 斎藤少將

支極秘第一五一号
去ル十七日段祺瑞留任ニ決セシヲ以テ此際速ニ兵器売買契

約ヲ調印セシメ置クノ必要ヲ認メ支那側モ亦急ギ居リシヲ以テ兎モ角モ代金支払ヲ別トシ取敢ヘス売買契約ノミ締結

拠ノ有無ヲ反問シタル際李ハ米国人及某英國顧問等ノ説ニ基ク旨回答シ来リタル処ヨリ察スレハ「シームス、カレイ」社員Andersonガ過日南京方面ニ出張シタル際或ハ官

民兩方面ニ對シ妨害的運動ヲ為シタルニアラスヤト疑ハル節アリ又英國某顧問トアルハ「モリソン」ガ過日帰國ノ途次南京方面ニテ略ホ同様ノ煽動的談話ヲ為シタルニアラスヤト疑ハル旨内話シタル由御参考迄ニ申進ス
右南京へ転電シ上海へハ南京ヨリ郵報セシメタリ

五二五 十一月二十二日 山田陸軍次官ヨリ斎藤在中国日本公使館附陸軍武官宛(電報)

中國地方督軍等ヨリ注文ノ兵器供給實行ニ關

スル件

照会(電報)

次官ヨリ 斎藤少將ヘ

二十日發支極秘五一号電見タ從來地方注文ニ對シテハ契

約期日ニ閏セス中央政府予定ノ分ヲ準備セシ以後ニ供給ス

ヘキ様期限ヲ指定セルモ政變後ノ模様不明ナルヲ以テ此際

寧口單純ナル商行為ト認メ中央政府ノ分ニ顧慮ナク貴照会

ノ地方ノモノ契約次第供給スルコトトシタシ從テ中央政府

五〇八

スルコト、シ昨十九日泰平公司ノ代理人陸軍部ニ到リタルニ再ヒ政變ニ会シ段祺瑞モ遂ニ辞職ノ已ム可カラサル情況トナリタレハ此両三日中止サレタキ旨徐次長ヨリ申述ヘ未タ調印スルニ至ラザルヲ遺憾トス本職ハ時機ヲ見テ調印ヲ了セシメ兵器ノ交付ハ他日ナルモ後日ノ為メ本契約ヲ為シ置クヲ可ナリト思考シアリ

五二四 十一月二十日 在中国林公使ヨリ本野外務大臣宛(電報)

日本兵器購入及鳳凰山問題ニ対スル李督軍等

ノ反対運動ノ裏面ニ英米人策動ノ形跡アル旨

曹汝霖船津書記官へ談話ノ件

第一六一九号

王占元、李純、陳光遠ノ三督軍等力軍器問題及鳳凰山問題ニ關シ中央政府ニ反対シ居ル趣曹汝霖談話ノ次第八往電第一六〇二号ヲ以テ報告ニ及置タル處十一月十九日船津ガ別用ヲ以テ曹ヲ往訪シタル際曹ハ再ビ本件ニ談及シ李督軍カ本問題ヲ口実トシテ中央ニ反対セルハ全ク英米両国人ガ近來日本ノ支那ニ於ケル活動ヲ嫉視シ之ヲ妨害センカ為煽動シタル形跡アリ現ニ中央ヨリ李純ニ対シ何等反対スヘキ根

ノ分調印ノ上ハ其供給期限既定案ト多少ノ差違ヲ來スヲ免レサルヘシ貴意見至急返

(参考)

徐次長照会ノ督軍ノ分トシテ払下ノ準備ニ著手セントセルモノ左ノ如ク何レモ中央政府ノ予定兵器準備後ニ非ザレバ供給セザルコトトセシ為大正七年四月以前ニ供給シ得サル情況ニアリ然レトモ支那ノ現状ニ對シテハ此際契約次第之ニ応スルコトトシ左ノ兵器モ本年十二月ヨリ供給ヲ実施スルヲ有利ナラント信シ本案ノ通(但シ督軍ノ分ハ資金モ調達セラレ護照ヲ受ケ居ルモノアリ)

山西 約 六八八、〇〇〇円
陝西 約 九三五、〇〇〇円
福建 約 二二七、〇〇〇円
計 約一、九五〇、〇〇〇円

五二六 十二月十九日 斎藤在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ上原參謀總長宛(電報)

段祺瑞日本兵器購入關係事項弁理引受及參戰

事務督弁就任承諾等ノ情報報告ノ件

六 中国へノ兵器供給ニ關スル件 五二五 五二六

五〇九

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五二七

五一〇

(写) 外務省接受十二月二十一日)

十二月十九日後 七、〇〇発
十二月二十日前一、四〇着

参謀総長宛

在北京 斎藤少将

支極秘第一九三号

北洋派某要人ノ談ニ依レハ中央政府用兵器ノ件ハ段祺瑞、
段芝貴及從来之ニ関係シアリシモノトノ間ニ協議ヲ繰メ明
後日頃日本側ニ申込ムヘク而シテ段祺瑞ハ馮総統ニ対シ本
兵器売買ニ關スル一切ノ事項ヲ辦理スルコトヲ引受ケタ
リ、昨日馮総統ハ王治隆(字肅山)(此者ハ段、倪嗣冲等
各方面ニ最モ信用アルモノ)ヲ招キ借款ノ件ヲ相談セシニ
依リ王ハ今日借款ニ応シ得ルモノハ日本ヨリ外ナシ然ルニ
日本ニ不評ナル王士珍内閣ニテハ交渉纏マラサルヘシト云
ヘルニ總統ハ王内閣モ最早ヤ長クハ統カザルニアラズヤト
云ヒシヲ以テ王ハ然ラハ尚更王内閣辭職ノ後ニ交渉スル方
可ナラント答ヘタリト、昨日總統ハ李際春、李長泰ノ兩人
ヲ天津ニ派遣シ曹鋐ニ向テ討伐命令ヲ發セズトモ軍隊ヲ出
動シテ可ナルニ非ズヤト云ハシメタルニ曹ハ大ニ怒リ討伐
命令ナクシテ出動スルハ不可ナリト答ヘタル由
又去ル十五日段祺瑞ハ總統ノ召ニ依リ謁見シタル際馮ヨリ

(附属書)

兵器売却代金決済法

一、泰平組合カ兵器ヲ支那政府ニ引渡シタルトキハ支那政
府ハ其ノ都度之ニ相当スル代金ノ仕払証書ヲ組合ニ交付
ス

右仕払証書ハ六ヶ月払トシ年七分ノ割ノ利子ヲ附スルモ

ノトス

二、泰平組合カ代金ヲ日本政府ニ納付スルヲ要スル時期ニ
至レハ其ノ際支那政府ハ曩ニ発行シタル仕払証書及其利
子ノ總額ニ該当スルニ足ルダケノ支那政府円大藏省証券
ヲ日本ニテ發行ス

右大藏省証券ハ期限ヲ一ヶ年トシ年七分ノ割引發行トス
外ニ手數料一分トス

三、右支那政府大藏省証券ハ日本政府ニ於テ臨時國庫証券
特別会計ニ於テ之ヲ引受クルモノトス

四、支那政府ハ其ノ大藏省証券發行代金ヲ以テ曩ニ發行シ
タル仕払証書ヲ仕払ヒ泰平組合ハ其仕払ヲ受クルト同時
ニ代金ヲ(利子共)日本政府ニ納入スルモノトス

(欄外註記)

六 中国へノ兵器供給ニ關スル件 五二八

段ニ対シ総理ニ就職スヘク勧告シタルモ段ハ各界ノ反対ニ
依リ辞職シタルモノナレハ今直チニ総理ニ就任シ難キ旨ヲ
述ヘ総統ヨリ然ラハ參戰事務督辦タランコトヲ懇請セラレ
之ヲ承諾シ一昨日閣議ヲ經テ昨夜發表スルニ至レリト

五二七 十二月二十日 山田陸軍次官ヨリ

斎藤在中国日本公使館附陸軍武官宛

中国中央政府行兵器代金決済法ニ關スル件

附属書 右決済法写

首題ノ件ニ關シ不取敢電報致置候處右ハ別紙写決済法ノ通
議定相成候モノニテ第一項ニ於ケル仕払証書ハ表向政治借
款ノ非難ヲ避クル外務省側意見ニ基クモノニテ該証書有効
期限ヲ力メテ長クスルノ必要有之候モ大藏省側立場ト相容
レサル点有之結局六ヶ月以内ノ期限ヲ附シタルモノニ有之
従テ支那政府円大藏証券發行時期ニ關スル第二項議定ノ事
項ハ其適用上斟酌ヲ可要モノニ候右ノ通事情已ムヲ得サル
関係上大藏省側ニ於テ短期間右仕払証書ニテ金融ノ便ヲ図
ルコトニ内諾致居候儀ハ泰平組合ニ於テモ委曲承知ノ上実
行案提出スル筈ニ有之候尚詳細ハ別紙写ニテ御承知相成度
候也

「一般市場ニテ引受クルヲ可トスル場合ニハ市場ニテ引受ク
ルコトモアルヘシ」

五二八 十二月二十五日 斎藤在中国日本公使館附陸軍武官
大島陸軍大臣宛(電報)

中国側ハ兵器代金支払方法我方提案ヲ承諾シ

更ニ追加購入ヲ希望ノ旨申出アリタル件

電報訳 十二月二十五日午前後時 分発

陸軍大臣宛 発信者 斎藤少将

支極秘二〇〇

本日段祺瑞並ニ段陸軍總長ノ代理トシテ王郅隆來訪シテ中
央部兵器購買ノ件馮総統ト財政總長トノ協議決定シ明日泰
平公司トノ間ニ調印スト代金支払ニ付テハ過日陸軍次官ヨ
リ通知アリタル我政府ノ規定通り支那側ニ於テ悉ク承諾尚
支極秘一九九ヲ以テ報告シタル品目員数ハ三八式機関銃五
挺同彈薬二百万發外ニ屬品一切六式山砲三十六門同彈薬
榴霰弾一万八百發榴彈一千八百發三八式野砲三十六門同彈
薬榴霰弾二百萬發右野山砲共屬品一切ヲ至急追加契約シ
タキ旨ヲ通告シ一兩日間ニ回答ヲ得タシト申出タリ但シ該
兵器ノ交付期限ハ契約後ニ於テ寛々決定セラレテ可ナルモ

(欄外註記)

五一一

時機ヲ失セサル顧慮ヨリ此際速ニ契約シタシト繰返セリ其期限及支払ニ関シテハ凡テ明日契約ノ分ト同一ノ規定ニヨル就テハ右承諾ノ旨返電來ル二十八日頃マデニ本職宛到達スル様御詮議相成タシ

五二九 十二月二十七日 山田陸軍次官(ヨリ
斎藤在中国日本公使館附陸軍武官
宛(電報))

中国中央政府ヘノ兵器ノ追加供給ハ異存ナキ

旨回答ノ件

兵器追加契約ノ件異存ナシ交付期限等委細泰平組合ニ内示ス

(参考)

追加契約ノ払下総価格ハ約金二百万円ナリ。

五三〇 十二月二十八日 山田陸軍次官(ヨリ
斎藤在中国日本公使館附陸軍武官
宛(電報))

山東督軍張懷芝ヘノ兵器供給斡旋ニ関スル件

電報訖 十二月二十八日 午後四時四十分著

陸軍次官宛

発信者 斎藤

支極秘二〇三

昨二十五日附山東督軍張懷芝ヨリ在濟南土井洋行ト三十年

ヲ認可シタルニツキ本職ヨリ政府ニ伝達方依頼シ来レリ

福建李厚基ト泰平公司トノ間ニ今回更ニ三十年式歩兵銃三千挺ノ売買契約ヲナセリ、浙江楊督軍ト泰平公司トノ間ニ

契約セルモノ三十年式歩兵銃三千挺

支極秘第二一一号

支極秘第二二一号

中央部兵器(追加ノ分共)ニ関スル契約ハ本日午後五時段

陸軍總長ト泰平公司トノ間ニ調印ヲ了セリ該契約中ノ小銃二万挺、山砲機関銃若干ハ至急供給セラレン事ヲ先方ニ於テ特ニ切望セリ此際可及的便宜ヲ与ヘラレタシ曰ムヲ得サ

レハ小銃ダケニテモ極メテ速ニ交附ヲ希望セリ

(附記一)

兵器代金支払ニ関スル件(陸軍次官ヨリ通知)

第一回 同 約二百万円(同)
(割増)

第二回 同 約二百万円(同)

計 約一千三百万円(支払価格約一千七百万円)

右ハ兵器受領ト共ニ支払証書ヲ發行ス(証書ニハ利子ヲ附シ期限ヲ六ヶ月トス)担保無シ期限迄ニ支払不可能ナル場合ニハ支那ハ大蔵証券ヲ發行シテ支払フ(利率七分)

印済ノ件

附記一 兵器払下価格ニ関スル山田陸軍次官通知

二 外務省調書「支那中央及地方政府ニ對スル兵
器供給」

六 中国ヘノ兵器供給ニ関スル件 五三二

式歩兵銃七千挺同弾薬五十万発ノ購買契約ヲ締結シ三週間以内ニ濟南ニ輸送スル如ク協定セシヲ以テ本職ヨリ日本陸軍省ニ電報シ払下許可相成様致度ト依頼シ来レリ

然ルニ支那陸軍部ニ於テ督軍ノ申出ヲ承認シ之ヲ本職ニ通知シ来ル事ハ徐樹錚ノ陸軍次長當時ハ極メテ敏活ニ抄リンモ現次長テキシフニ至リ從前ノ如ク敏活ナル能ハス仍テ本職ハ本日段陸軍總長ニ面談シタル處、段ハ右ハ予テ上申シ来レル所ナレハ自分ニ於テ之ヲ承認スルニ付是非至急払下相成度ト確答セリ就テハ泰平公司ヲ經テ右払下相成様詮議相成度

五三一 十二月三十日 山田陸軍次官(電報)

福建、浙江兩督軍ノ泰平公司ヨリノ兵器購買

ヲ認可シタル旨日本政府ヘ伝達方陸軍總長段

芝貴ヨリ申出アリタル件

電信訖 十二月三十一日午前後時 分發

陸軍次官宛

発信者 斎藤少將

支極秘二〇八

昨二十九日附陸軍總長段芝貴ヨリ本職宛左記兩省兵器購買

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五三一

「支那中央及地方政府ニ対スル兵器供給」

五一四

同彈薬 七千二百個

大正六年七月二十二日當時ノ陸軍次長傅良佐段總理ノ命ヲ受ケ斎藤少將ヲ訪問シ總理ハ國家統一ニ腐心シ居リ此際日本政府ヨリ大砲小銃及弾薬等ノ供給ヲ受ケ度旨申出タリ林公使モ之ニ贊同シ稟申スル所アリシカ八月十七日陸軍次長徐樹錚ヨリ斎藤少將ニ宛テ書面ヲ以テ左記ノ兵器弾薬購入方ヲ申越タリ	三八式歩兵銃（銃剣共） 同弾薬	四万挺
三八式三脚架機関銃 同弾薬	八百万個	八百二十挺
四五式砲身捻座式山砲（附屬品共） 同弾薬	六百万個	百二十門
同榴霰弾 同榴弾	七万三千個	一万二千個
四五式砲身後座式野砲（附屬品共） 同榴霰弾	百二十門	七万三千個
十五吋榴弾砲 同弾薬	八門	四千八百個
十二吋榴弾砲	十二門	

右ノ用途ニ閑スル林公使ノ質問ニ対シ之等兵器ハ旧式軍隊整頓ノ用ニ供スルモノニシテ毫モ南方側圧迫ニ使用セサルヘキ旨陸軍次長ヨリ書面ヲ以テ誓言スル所アリタリ
帝国政府ニ於テハ詮議ノ末遂ニ支那政府ノ希望ニ応シ兵器ヲ供給スルコトニ決定シ十月四日林公使ニ対シ帝国政府ニ於テハ兵器供給ニ決定セルカ右ハ支那政府ノ保障ニ信頼セルカ為ニ外ナラス帝国ヨリ供給セル兵器カ南方人民殺傷ノ用ニ供セラルルカ如キハ帝国政府ノ支那政府ニ対スル公正且友好ナル精神ニ於テ忍フ能ハサル所ナル旨ヲ篤ト支那政府ニ了解セシムル様電訓シ尚数量其ノ他ノ細目ハ日支陸軍官憲間ニ商議セシムルコトセリ林公使ハ十月六日段總理ニ面会ノ上篤ト右電訓ノ趣旨ヲ伝達シタルニ段ハ帝国政府ノ好意ニ対シ深ク感謝ノ意ヲ表シタリ
其ノ後南支及中支地方ニ於テ反対ノ声高カリシカ関係督軍ニ対シテハ夫々出先領事等ヲシテ適宜帝国政府ノ方針ヲ説明シ置カシメタリ王士珍内閣成立後十二月下旬ニ至リ交渉大ニ進捗シタルカ前回申込ノ数量以外ニ更ニ左ノ追加申込アリタリ

三八式三脚架機関銃

五十四挺

六式山砲 同榴霰弾	三十六門
同榴弾	一万八百發
三八式野砲 同榴霰弾	一千八百發
	三十六門
	一万八百發

浙江等ヨリモ中央政府ノ承認ヲ経テ軍器及軍需購入ノ申込アリ其ノ内山西省ノ分三八式三脚架機関銃（附屬品共）十六挺及三一式速射山砲（附屬品共）十四門三八式歩兵銃二千六百五十挺四五式野砲十二門四五式山砲八門榴霰弾七千発等及陝西省ノ分三〇式歩兵銃三千五百挺三八式歩兵銃六千挺同弾薬二百万發同騎兵銃一千五百挺速射山砲（附屬品共）十八門同弾薬七千五百發四〇式機関銃（附屬品共）二十四挺同弾薬十二万發等ハ之ヲ供給スルコトニ決定シ既ニ契約済ナリ福建、山東及浙江諸省ヨリ申出ノ分ハ目下懸案中ナリ

尚以上中央政府ニ対スル分以外ニ陝西、山西、福建、山東、